

第1回ジョブコーチシェアリングセミナー実施

ヨルダン人トレーナーによる研修で、これまでに56名のジョブコーチが誕生しました。これらジョブコーチが集まり、互いの経験から学びあうこと、ネットワークづくりを目的に経験共有セミナーを実施し、7つの企業と団体がジョブコーチ支援の経験を発表しました。また、これまで2名以上に対してジョブコーチ支援を行い報告をしたジョブコーチ10名が、認定ジョブコーチとなりました。



研修風景



集合写真

シリア難民障害者ミーティング

シリア難民障害者グループの代表者3名、労働省およびプロジェクトメンバー間でのミーティングを実施しました。労働省からはカウンターパートに加えてシリア難民の就労を支援している部署の職員も出席し、障害者の就労を促進するための情報やアイデアが提供されました。シリア難民障害者は、実施してきたピアカウンセリング活動やスポーツなどのグループ活動の報告を行い、双方にとって有益なミーティングになりました。障害者グループの代表者たちは、ミーティングで得た情報を他のメンバーに共有し、今後のグループ活動の具体的な立案を進めることとなっています。

障害者雇用への草の根支援

ジョブコーチ研修に参加した企業2社から、実際の職場でのサポートや評価についての支援要請があり、プロジェクトメンバーと労働省職員が支援を行いました。視覚障害者を雇用した工場では、就労場所のアクセス改善についてアドバイスを行い、知的障害者を雇用した企業に対しては、業務の説明方法について等を伝えました。両企業ともジョブコーチ研修に参加した職員は熱心に障害者雇用に取り組んでおり、更なる障害者雇用にも前向きです。



卵のパッケージ作業をする視覚障害者(右)と同僚